

郡上市地域医療センター

岐阜県へき地医療 研修会アンケート 結果

平成 26 年 8 月 8 日 9 日



(1) 参加者属性

参加者 56名

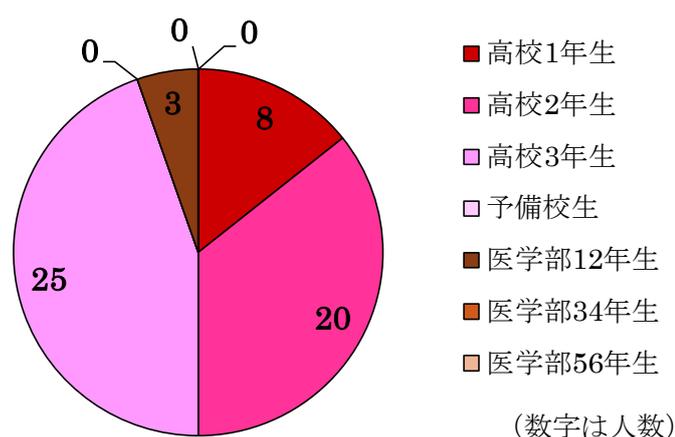
① 学年

高校生 53人

：岐阜高校 6人、加納高校 2人、鶯谷高校 8人、大垣北高校 4人、関高校 9人、
可児高校 7人、帝京大可児高校 1人、多治見北高校 6人、多治見西高校 1人、
斐太高校 2人、高山西高校 6人、滝高校 1名

医学部生 3人

：岐阜大学 1人、自治医科大学 2人



② 出身地

岐阜市 9人 (1名医学部生)、羽島市 1人、各務原市 2人 (1名医学部生)、
本巣市 1人、笠松町 1人、大垣市 2人、垂井町 1人、安八町 1人、関市 5人、
美濃市 3人、美濃加茂市 5人、可児市 4人、郡上市 3人、多治見市 3人、
恵那市 1人、土岐市 3人、高山市 6人、飛騨市 1人、下呂市 1人、
愛知県一宮市 2人、兵庫県丹波市 1人(医学部生)

(2) 研究会参加の目的あるいは目標とその達成度 (コメント)

- ・ へき地医療に興味があった (高校生)
→10.0/10.0 (へき地そこでおこなわれる医療について少し知ることができた。数字を見るだけでは分からないものがここにはあった。)
- ・ へき地でおこなわれている医療について様々なことを知って、今後の進路選択の参考にしていきたいと思う (高校生)
- ・ →8.4/10.0
- ・ 将来、医療に携わろうと思っているので、早いうちに医療現場を知ることによって、自分に必要なものを把握するため (高校生)
→10.0/10.0

- ・ 社会勉強（高校生）
→5.0/10.0
- ・ 医師の仕事とへき地医療に興味があり、それを知ること（高校生）
→8.1/10.0
- ・ 家がへき地なのでへき地医療についてしっかりと学ぶ（高校生）
→8.1/10.0
- ・ 医療への関心を深め、同じ志をもつ学生と意見を交流する（高校生）
→6.8/10.0
- ・ へき地医療を学ぶことで、医療分野への関心を深めたい（高校生）
→8.1/10.0
- ・ 地域医療の現場を実際に体験すること。将来地元で働きたいので楽しみにしています（高校生）
→8.2/10.0
- ・ へき地医療が実際どのように行われているのか、その工夫や問題点などを目で感じて明らかにしたいと思ったから（高校生）
→9.1/10.0（新たに学び直す事も多くて良かった）
- ・ へき地に医療の現状を知り、自分がどのような医者になりたいかを明確にする（高校生）
→8.5/10.0
- ・ 地域医療の現状をみて身近にとらえる（高校生）
→10.0/10.0
- ・ 今知らないことを（高校生）
→9.8/10.0
- ・ 事前目標設定未記入（高校生）
→9.6/10.0（へき地医療の一部をフィールドワークで体験できて良かった）
- ・ へき地医療に興味があったから。現状を知ること。仲間との考えの交流をはかること（高校生）
→9.5/10.0（へき地で求められる医師像やへき地ならではの住民とのコミュニケーションなどいろんなことを知って、思ったことを交流できた）
- ・ 医師になることが目標で、地域医療研修をしてみたいと思ったから（高校生）
→10.0/10.0
- ・ 医療に興味があり、また受験勉強のモチベーションを上げるため（高校生）
→10.0/10.0
- ・ へき地について少しでも多く学び、また高校生などとの交流をする（高校生）
→9.0/10.0

- ・ へき地でどのような医療が行われているかを知るため（高校生）
→10.0/10.0
- ・ へき地医療について知りたかった（高校生）
→7.2/10.0
- ・ 医学部を目指すことについて、より深く知識を得て現状を知り決意を固めること（高校生）
→10.0/10.0（へき地にたいしての自分の今までのイメージを180度変えることができた）
- ・ へき地についての調査。どれくらい人数不足なのか、どのような状況なのか（高校生）
→10.0/10.0
- ・ 自分の知りたいことを明確にして、受験勉強のモチベーションをあげる（高校生）
→10.0/10.0
- ・ 事前目標設定未記入（高校生）
→8.3/10.0
- ・ へき地の医療（高校生）
→8.1/10.0
- ・ へき地医療に実際に触れることで、少しでも自分の将来につなげていく（高校生）
→8.9/10.0
- ・ へき地をめぐる、地域医療について理解を深める（高校生）
→6.8/10.0
- ・ へき地医療を実際に見て、自分の将来の夢である医師になるための、いい経験にする（高校生）
→7.1/10.0
- ・ 今回の研修のなかで、自分の地元もへき地である以上、へき地医療について考えなくてはならないと思っているので、見つめなおせたらと思います（高校生）
→8.5/10.0
- ・ 医師に興味があり、また、地域がへき地だと思うから（高校生）
→7.8/10.0
- ・ 地域医療の実態を知り、医学進学への気持ちをより高める（高校生）
→8.3/10.0（より強く医療への思いを持つようになった）
- ・ へき地医療について理解を深め、興味をより持ち、将来の自分の職業に生かせるようなことを学びたい（高校生）
→8.1/10.0（へき地医療に対しての偏見みたいなものがあったけど、自分が思っていたのとは違って、活気あふれる場でした）
- ・ へき地医療の現状を知る（高校生）
→6.9/10.0（へき地の現状だけでなく住民とのディスカッションができてよかった）

- ・ へき地医療について少しでも知ること（高校生）
→10.0/10.0
- ・ 地域医療について少しでも詳しく知ること。へき地についてしっかり考えること（高校生）
→10.0/10.0
- ・ 将来医師を目指しているので、へき地といわれるところではどんな医療がされているのかを見るため（高校生）
→8.3/10.0（へき地医療とはどのようなものかは知ることができた）
- ・ へき地医療に興味があったから（高校生）
→10.0/10.0（医学部生、医師、地域住民の方々との交流ができて本当にためになりました）
- ・ 将来医療を志しているので、今のうちに医療の現状を知って考えておこうと思ったから（高校生）
→8.8/10.0
- ・ へき地医療を肌で感じる。医療現場において、少しでも医療に関する理解を深めること（高校生）
→7.3/10.0（へき地に対して理解を深めることができました）
- ・ 医療への関心を高めること（高校生）
→10.0/10.0（関心がおおいに高まりました）
- ・ 町中にある病院しか行ったことがなくて、小さくて、人も少ない病院はどういうふう
に活動しているんだろうと思ったから（高校生）
→9.1/10.0
- ・ へき地医療を知るため（高校生）
→7.4/10.0
- ・ へき地医療について知る（高校生）
→8.1/10.0
- ・ 医療関係に興味があるので、少しでも身近に知っておきたいと思ったからです（高校生）
→10.0/10.0
- ・ へき地医療についての理解を深める。地域の方や、グループのメンバーと積極的にコミュニケーションをとる（高校生）
→8.0/10.0（自分の考えを伝えることと、相手の意見を聞くことのバランスが難しかった）
- ・ 積極的にコミュニケーションをとって、へき地の現状を知る（高校生）
→8.7/10.0

- ・ へき地医療を通じて医療のことを知れたらいいなと思っています（高校生）
→10.0/10.0（医療について知りたかったけど、それ以上のものも知れた）
- ・ 田舎に行ってみたかった。そこの医療も見てみたいと思った（高校生）
→4.9/10.0
- ・ へき地の現状を身をもって体験したかった（高校生）
→9.7/10.0（へき地に現状が身に染みるように伝わってきた）
- ・ へき地医療の実態を直接みて、大学受験へのやる気を高めて、今後につなげるため。コミュニケーション能力をつける（高校生）
→10.0/10.0（へき地医療の現状を知ることができた。今後のやる気の糧になる）
- ・ へき地医療はどういうものなのかを目で見て理解する（高校生）
→10.0/10.0
- ・ 医学部受験を考えていて、将来の実現のために、今持っている地域医療へのイメージを具体化するため（高校生）
→10.0/10.0
- ・ 医療系の研修会を受けることで、医療現場の実態を知り、興味・関心を深める。へき地医療の現状も知りたい（高校生）
→9.2/10.0
- ・ 郡上を楽しむこと（医学部生）
→7.1/10.0
- ・ 自分が将来勤務するかもしれない診療所の実際の様子をみること（医学部生）
→10.0/10.0（実際の診療所の設備を見たり、消防署からみた医師の話の聞いたことは非常に有意義だった）
- ・ 医学部に興味を持っている学生に、たくさん質問をしてもらえそうな関係をつくれるといいと思っています（医学部生）
→7.7/10.0（旅館でなかなか話せなかったのが気がかりです）

(3) 研修会事前事後比較 (10cm Visual Analog Scale による)

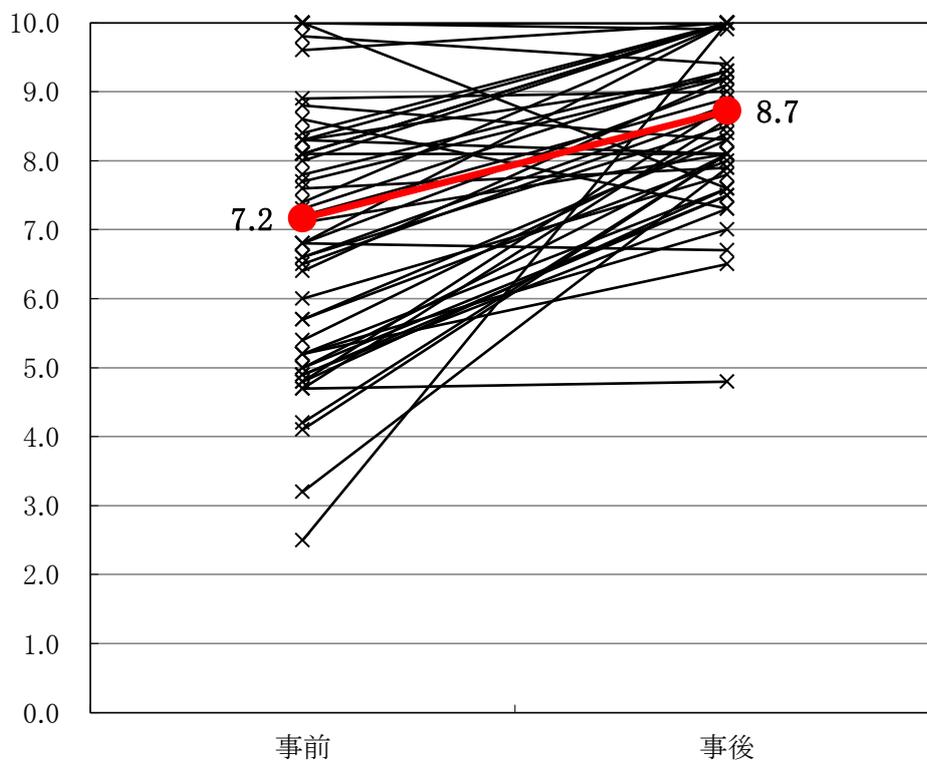
① へき地に対する興味があるか?

上段：全体 (56名)

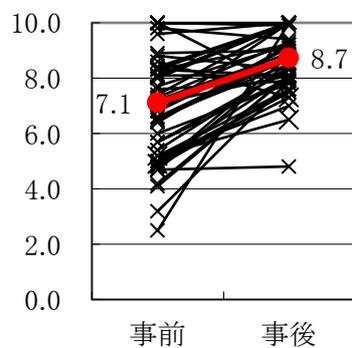
下段左：高校生 (53名) 下段右：医学部生 (3名)

数字は平均値

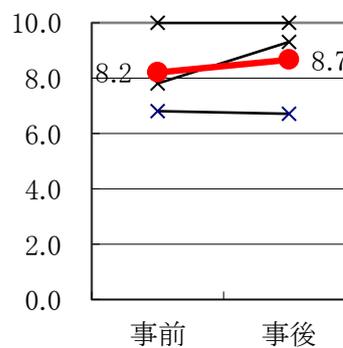
【全参加者】 56名



【高校生】 53名



【医学部生】 3名



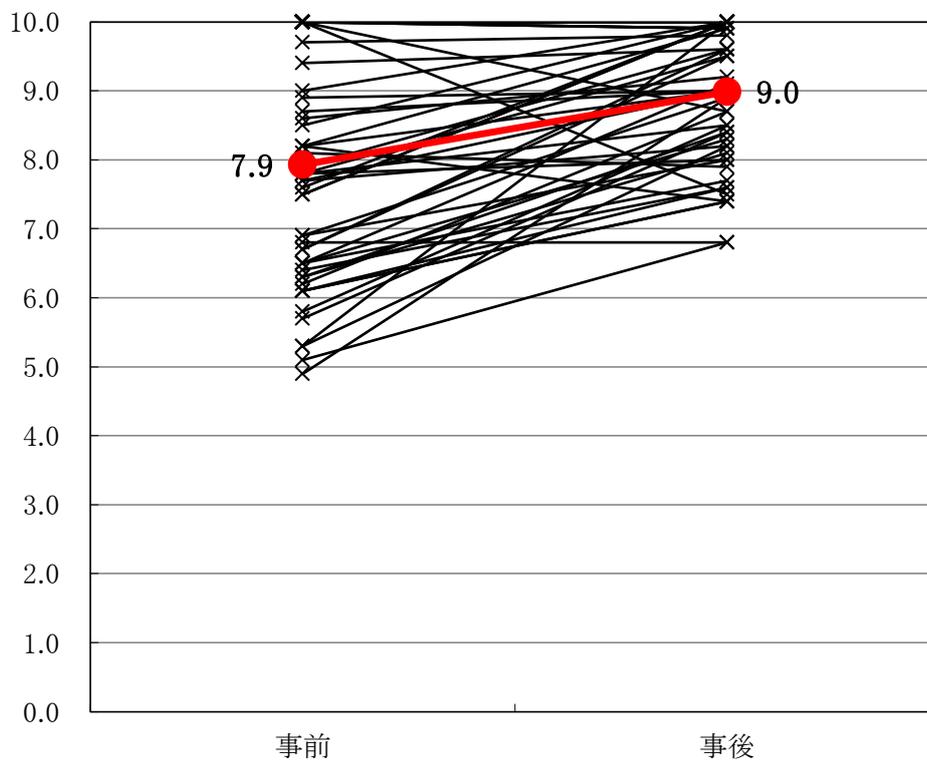
② へき地医療に対する興味があるか？

上段：全体（事 56名）

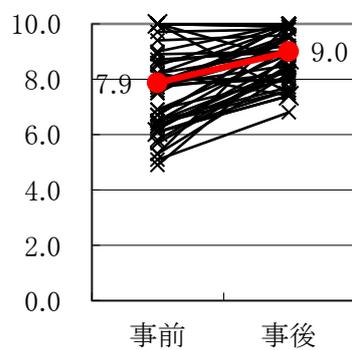
下段左：高校生（53名） 下段右：医学部生（3名）

数字は平均値

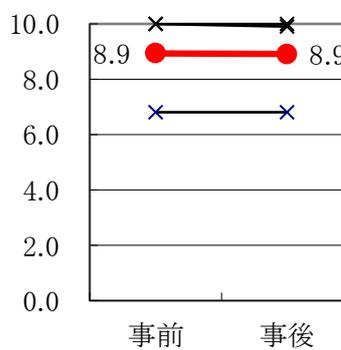
【全参加者】 56名



【高校生】 53名



【医学部生】 3名



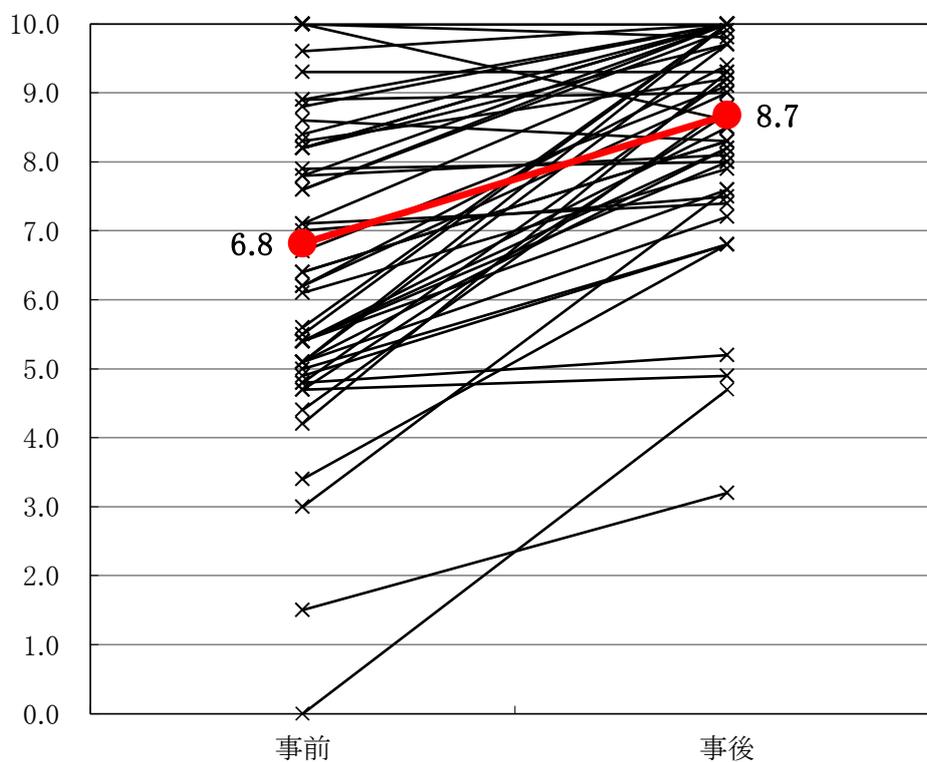
③ へき地医療に夢があると思うか？

上段：全体（56名）

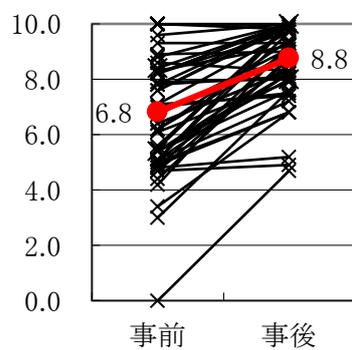
下段左：高校生（53名） 下段右：医学部生（3名）

数字は平均値

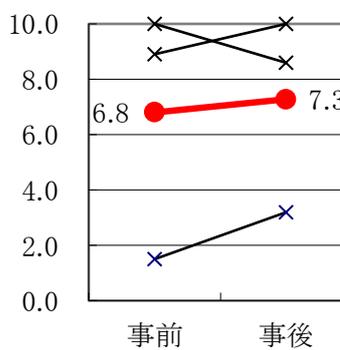
【全参加者】 56名



【高校生】 53名



【医学部生】 3名



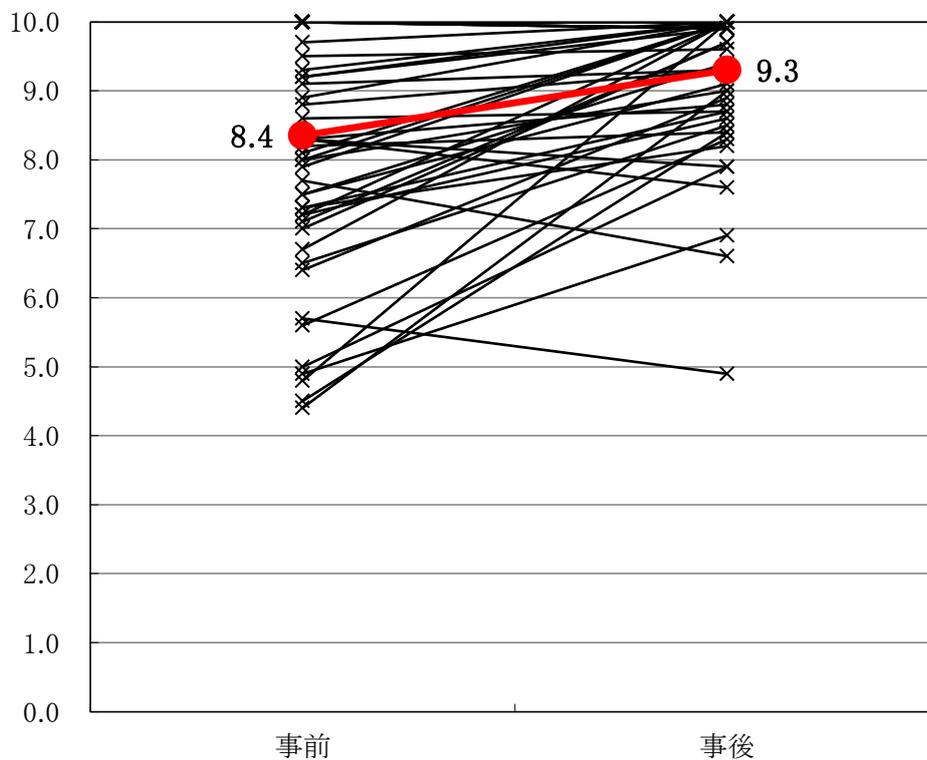
④ へき地医療にやりがいはあると思うか？

上段：全体（56名）

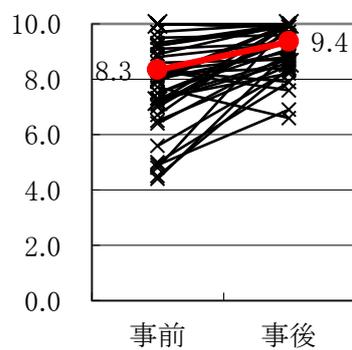
下段左：高校生（53名） 下段右：医学部生（3名）

数字は平均値

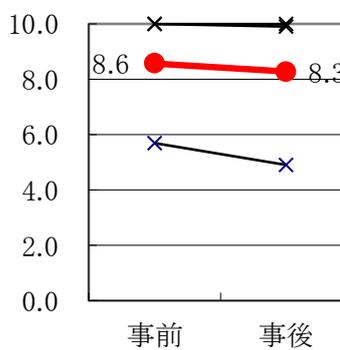
【全参加者】 56名



【高校生】 53名

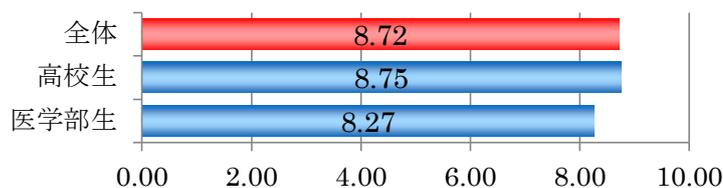


【医学部生】 3名



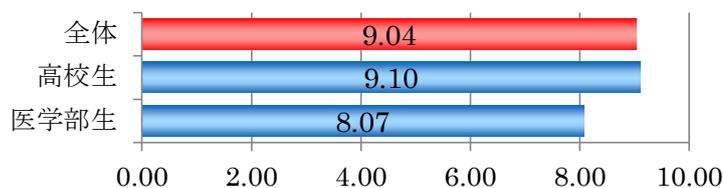
(4) 研修満足度 (10cm Visual Analog Scale による)

① 目的目標の達成度 (高校生：53名、医学部生3名)



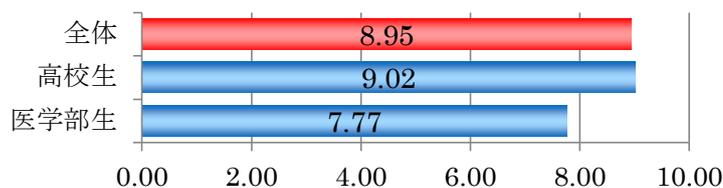
- ・ へき地そこでおこなわれる医療について少し知ることができた。数字を見るだけでは分からないものがここにはあった。(高校生)
- ・ 新たに学び直す事も多くて良かった。(高校生)
- ・ へき地医療の一部をフィールドワークで体験できて良かった。(高校生)
- ・ へき地で求められる医師像やへき地ならではの住民とのコミュニケーションなどいろんなことを知って、思ったことを交流できた。(高校生)
- ・ へき地にたいしての自分の今までのイメージを180度変えることができた。(高校生)
- ・ より強く医療への思いを持つようになった。(高校生)
- ・ へき地医療に対しての偏見みたいなものがあつたけど、自分が思っていたのとは違って、活気あふれる場でした。(高校生)
- ・ へき地の現状だけでなく住民とのディスカッションができてよかった。(高校生)
- ・ へき地医療とはどのようなものかは知ることができた。(高校生)
- ・ 医学部生、医師、地域住民の方々との交流ができて本当にためになりました。(高校生)
- ・ へき地に対して理解を深めることができました。(高校生)
- ・ 関心がおおいに高まりました。(高校生)
- ・ 自分の考えを伝えることと、相手の意見を聞くことのバランスが難しかった。(高校生)
- ・ 医療について知りたかったけど、それ以上のものも知れた。(高校生)
- ・ へき地に現状が身に染みるように伝わってきた。(高校生)
- ・ へき地医療の現状を知ることができた。今後のやる気の糧になる。(高校生)
- ・ 実際の診療所の設備を見たり、消防署からみた医師の話を聞いたことは非常に有意義だった。(医学部生)
- ・ 旅館でなかなか話せなかったのが気になります。(医学部生)

② 研修全体の満足度（高校生：53名、医学部生3名）



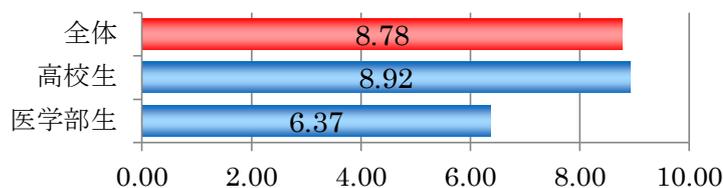
- ・ 想像していた以上の経験を得ることができた。ぜひまた参加したい。（高校生）
- ・ へき地医療について知ることができ、料理もおいしかった。（高校生）
- ・ 地域医療への理解が深まった。（高校生）
- ・ 2回目の参加でしたが、今年も行って本当に良かったと思います。（高校生）
- ・ 今まで知らなかったことが知れてよかった。（高校生）
- ・ 郡上おどりができなかった以外は本当に良かった。（高校生）
- ・ 自分の将来を大きく左右する体験ができた。（高校生）
- ・ 充実した1日と半日だった。（高校生）
- ・ へき地に対して興味を深められたし、先生や医学生同じグループの先輩方の意見も聞けてよかった。（高校生）
- ・ 進路選択に視野が広がりました。（高校生）
- ・ 住民の方々との対話、医学生、医者との対話はとても満足した。（高校生）
- ・ 学びがたくさんありました。（高校生）
- ・ 様々な方との交流が多く、特にグループのメンバーとは2日間でとても仲良くできて良かった。（高校生）
- ・ めちゃくちゃ良い経験ができました。（高校生）
- ・ 楽しくできて充実！（高校生）
- ・ 将来像がなんとなくつかめた気がする。（医学部生）
- ・ 多くの学生に自治医大のPRができました。みんなも興味を持ってくれてうれしいです。（医学部生）
- ・ 時間がもう少しほしい。（高校生）
- ・ 郡上おどり行きたかった。（高校生）
- ・ 飛騨牛丼がでてこなかったな。（高校生）
- ・ すごく盛りだくさんで良かったが、自分の体調が万全でなかったなので、少し低評価になっています。（高校生）

③ フィールドワーク（へき地見学体験）の満足度（高校生：53名、医学部生3名）



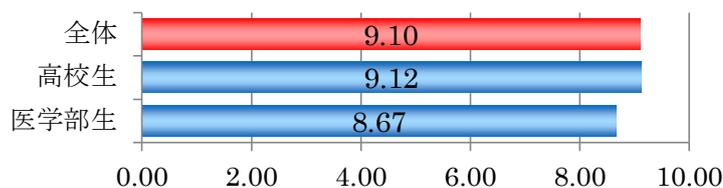
- ・ 昨年とは違った診療所に行かせていただいて、異なる視点で見学できて良かった。（高校生）
- ・ 鬼の首が印象的だった。（高校生）
- ・ 実際に往診にいたりしてへき地医療の一部でも体験できて良かった。（高校生）
- ・ 生の現場を見る事が出来た。（高校生）
- ・ 今、どのような現状であるのかを知ることができた。（高校生）
- ・ 往診が特に心にのこりました。長寿はすごいです。（高校生）
- ・ 現場を見る機会はなかなかないのでよい経験になりました。（高校生）
- ・ いろいろなものが見れて体験できた。（高校生）
- ・ 病院ではなく診療所とはどういうものか知れてよかった。（高校生）
- ・ 貴重な体験をさせていただきました。（高校生）
- ・ 自然豊かで周囲とのつながりがあるという、へき地ならではの魅力を知ることができた。（高校生）
- ・ へき地医療の現場を知った。（高校生）
- ・ へき地もなかなか悪くないと思った。（高校生）
- ・ 地域の方にも触れることができ有意義な時間でした。（高校生）
- ・ 少し地域医療に従事する予定の者としての実感がわいた。（医学部生）
- ・ 先生やスタッフの方の雰囲気を知れました。（医学部生）
- ・ できれば診察の光景なども見たかった。（高校生）
- ・ 思ったより診療所での時間が短かった。（高校生）
- ・ 診察が見られなかったのは少し残念ではあったが、実際のへき地の様子がみれて良かった。（高校生）
- ・ 移動がつかったです。でもそれ以外は言うことなしです。（高校生）

④ 医学部生高校生交流セッションの満足度（高校生：53名、医学部生3名）



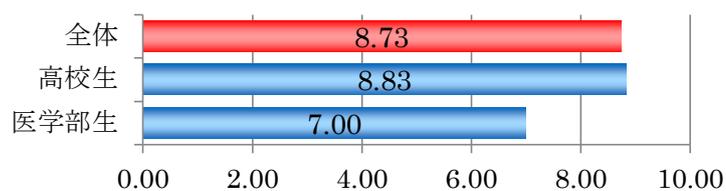
- ・ 医学生の話が聞けた。（高校生）
- ・ 現役に方の声がきけたのでためになった。（高校生）
- ・ とても親身に教えてくださり、医学生になりたいと強く思いました。（高校生）
- ・ 分からないことが分かってよかった。（高校生）
- ・ 実際に医学部の人の話を聞くことはほとんどないから貴重な体験だった。（高校生）
- ・ 医大生の生活、または現在医師として活躍されている方のお話を聞いて良かったと思います。（高校生）
- ・ 楽しいこと、苦しいこと、様々なことを知ることができ良かった。（高校生）
- ・ 興味をもてる話を聞くことができました。（高校生）
- ・ 色々な質問にとっても丁寧に答えてくださって助かりました。（高校生）
- ・ 自分がこれからどのようにして勉強すれば良いか分かった。（高校生）
- ・ 質問したいことが聞いてよかった。（高校生）
- ・ 他の人に知りたい事なども分かって良かった。（高校生）
- ・ いい方面ばかりでなく、苦勞する方面も聞くことができ良かったです。（高校生）
- ・ 自分たちが普段疑問におもっていたこと、不安だったことについて、経験をもとにアドバイスしていただけて良かった。（高校生）
- ・ 色々と疑問なことがあったけど知れて良かった。（高校生）
- ・ より医師になりたいと思った。（高校生）
- ・ 大学生活の楽しさとかが知れた。（高校生）
- ・ 緊張しましたが言いたい事を伝えられました。（医学部生）
- ・ 少しオープンキャンパスと企画がかぶっていたが、聞きたいことに丁寧に答えていただけて嬉しかった。（高校生）
- ・ あんまり上手く答えられなかったのが残念だった。（医学部生）

⑤ ワークショップ（住民と語る会）の満足度（高校生：53名、医学部生3名）



- ・ 実際にへき地と呼ばれる地域に住んでいらっしゃる方の本音を聞くことが出来た。（高校生）
- ・ 住民の生の声を聞くことができたので良かったです。（高校生）
- ・ 地域住民の声がわかって、へき地に何が必要かがより理解できた。（高校生）
- ・ 住民の皆さんがとても優しく質問などにも答えてくださった。（高校生）
- ・ 異なった視点からの意見がきけてとても勉強になった。（高校生）
- ・ 他グループの人とも話せて良かった。（高校生）
- ・ 住民の方々と話しが出来て楽しかったです。（高校生）
- ・ 住民の生の声をきくことによって、今、僕は医師ではないけれど、もしなれるなら、求められているような医師になりたい。（高校生）
- ・ 地域密着の医療の大切さなどたくさんを学びました。（高校生）
- ・ 色々なお話をきけて楽しかったです。（高校生）
- ・ 住民の方の生の声が聞けて将来の目指したい医師像がはっきりしました。（高校生）
- ・ 貴重な体験ができました。今度に生かせることが多くあると思います。（高校生）
- ・ 非常に気さくな方で話しやすかったです。（高校生）
- ・ 住民の意見がわかりました。まだまだ医者でも、良き仲間として接する信頼関係が必要だと思いました。（高校生）
- ・ 1つの事柄をそれぞれの視点から見て議論することで、自分にはなかった考えを知ることができた。（高校生）
- ・ 住民の医師にたいする思いを聞いて貴重でした。（高校生）
- ・ どんな医師が求められているのかが伝わった。（高校生）
- ・ 自分から口火を切ることができる場面があったし、ナマの声を聞けてためになった。（高校生）
- ・ 地域の方の生の声を聞くことができたのは良かった。（医学部生）
- ・ 本音が聞けたと思います。（医学部生）
- ・ 住民の方々からの生の声がきけてよかったが、もう少し発言したかった。（高校生）

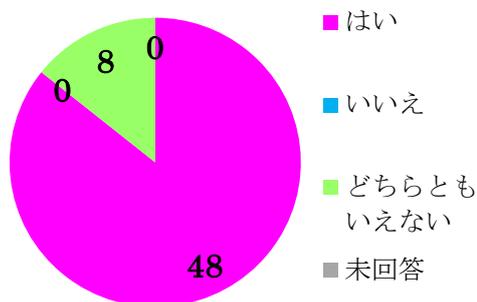
⑥ 交流会の満足度（高校生：53名、医学部生3名）



- ・ いろんな対場の人意見が聞けて良かった。(高校生)
- ・ 時間が足りないと思うくらい良い時間となった。(高校生)
- ・ ためになる話がきけました。(高校生)
- ・ 個性があってよいと思いました。(高校生)
- ・ 医師を志す人と多くふれあえてよかった。(高校生)
- ・ いろいろ参考になることが学べました。(高校生)
- ・ いい勉強になりました。(高校生)
- ・ とてもうまくまとめられていました。(高校生)
- ・ たくさんコミュニケーションがとれてよかった。(高校生)
- ・ すごい充実していました。(高校生)
- ・ 仲間との親睦を深めることができた。(高校生)
- ・ 楽しく地域医療の大切さを学べた。(高校生)

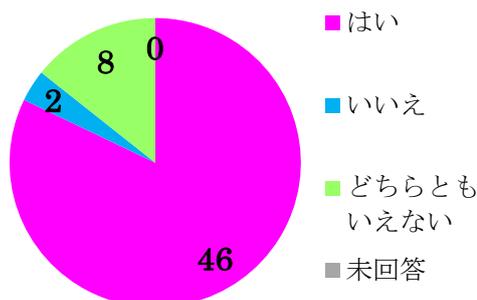
(5) 研修会に対する調査結果

① 開催時期 (8月 8-9日)



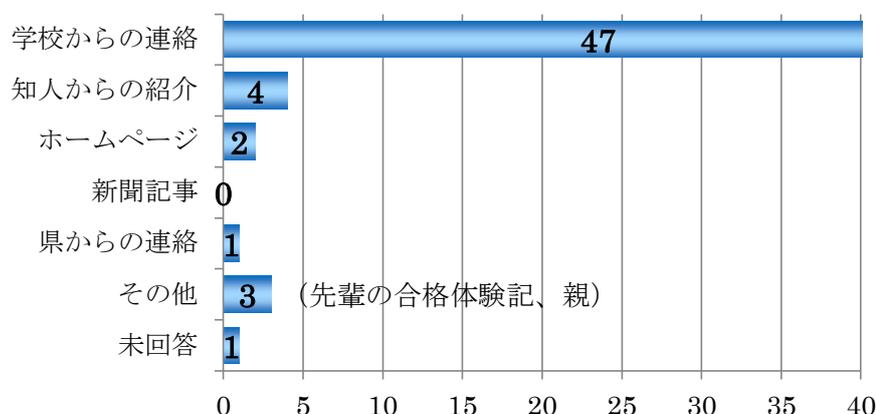
- ・ 学校の補習がなかったので良かったです。(高校生)
- ・ 去年は部活のコンクールとかぶって来られませんでした。(高校生)
- ・ 夏休みだったので良かった。(高校生)
- ・ 自分を見つめ直すことが出来る夏休みにすることが出来たので適切だと思います。(高校生)
- ・ いいと思います。(高校生)
- ・ 雨が降ったけど楽しかった。(高校生)
- ・ 夏休み中盤にいい刺激をいただきました。(高校生)
- ・ 良いと思います。(高校生)
- ・ 時間のある夏休みを利用していい経験ができました。(高校生)
- ・ 夏休みはじめにあるともっとやる気が出て良かったかもしれないです。(高校生)
- ・ 郡上おどりが残念でした。(高校生)
- ・ 台風がこなければ。(高校生)
- ・ 雨がふって大変でした。寒かったです。(高校生)
- ・ 医学部では東医体とかぶって来たい人が来れない時期かもしれません。(医学部生)

② 開催期間 (1泊2日)

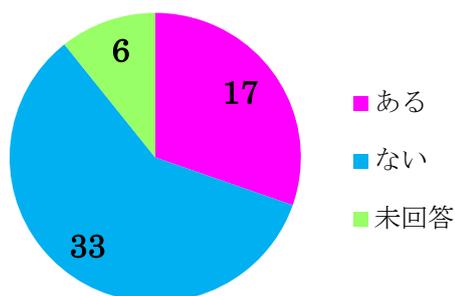


- ・ 短い間でも集中して学ぶことができました。(高校生)
- ・ 楽しく体験し、交流し学べて良かったです。(高校生)
- ・ 一泊することで仲が深められた。(高校生)
- ・ いろいろな場所をまわられたので良かった。(高校生)
- ・ 同室の人達と仲が深まったと思います。(高校生)
- ・ 勉強にそれほど影響はでないが、知らなかった子とは仲良くなれる程度のよい長さだった。(高校生)
- ・ 良いと思います。(高校生)
- ・ 充実した1泊2日でした。(高校生)
- ・ 一泊二日は思ったよりすぐに終わってしまった。(高校生)
- ・ 一泊二日では知ることのできない事がへき地医療のこの活動にはあると思うのもっと体験したい。(高校生)
- ・ もう一泊したかった。(高校生)
- ・ もう一泊あってじっくりやってもいいかなと思いました。(高校生)
- ・ もう一泊あっても良いと思いました。(高校生)
- ・ もっと他の診療所など詳しく知りたかった。2泊3日でもいいくらい。(高校生)
- ・ 日帰りでは物足りないと思う。(高校生)
- ・ もう少し長かったら交流が深まったかも。いまでも十分交流できたけど。(高校生)
- ・ ちょっとフィールドワークのスケジュールがきつかったかなと思います。白川だったので。(高校生)
- ・ なごり惜しい。もう1泊したかった。(高校生)

③ 研修会に関する情報源 (複数回答)



④ 期待するプログラム



- ・ 地域医療についての内容。(高校生)
- ・ フィールドワークの時間が少なく診療所を回るだけで終わったのもっと地域を回ってみたいかった。もっといろいろな先生と会話をしたかった。(高校生)
- ・ 1、2年の時にはこの会を知らなかったのもっと知らせてほしい。(高校生)
- ・ 色々な学校で学年が違う機会は本当になくて刺激になったし、実際に交流してみて地域医療の大切さと住民の方々とつながりが学べとても良い経験になりました。(高校生)
- ・ 貴重な体験ありがとうございました。(高校生)
- ・ 診療所での診察、または往診の見学ができなかったことが、少し残念でしたがたくさんのお話をきけてとっても満足です。(高校生)
- ・ 医学生と関わる機会があって良かった。続けてもらいたいです。(高校生)
- ・ 予想以上にとても良い研修会で無料でやっていただきありがとうございました。へき地医療にたいする考えもかわり、また、実際に住民の方の意見を聞き医者とはどういう存在なのかを考えられました。(高校生)
- ・ 交流会等。(高校生)
- ・ もう少し診療をみたい。(高校生)
- ・ 地域の方々、医師の方々、今までにない生の声を聞くという貴重な機会を得ることができて、いろんな視点から物を見ることができるようになりました。へき地医療にかんしてもすごく興味をもてたと思います。(高校生)
- ・ 良い経験をありがとうございました。(高校生)
- ・ 将来私もへき地医療に携わりたいと思いました。(高校生)
- ・ なかなかできない体験ができて本当に良かったです。(高校生)
- ・ 研修を受ける前と今のへき地のイメージが大きく変わった。今後もこの企画をやった方がいいと思います。(高校生)
- ・ 最初はグループの子と仲良くなれるか不安だったけど、すぐにうちとけることができとても楽しかった。バスでの移動時間もグループの子と喋ったりとても楽しかった。(高校生)
- ・ より長い日数での研修。(高校生)

- ・ 現在のやり方がいいと思います。(高校生)
- ・ また機会があったら今回のようなへき地への体験学習へ参加したい。(高校生)
- ・ 診療風景が見てみたい。(高校生)
- ・ フィールドワーク。(高校生)
- ・ ワークショップだけど、どこかの班がやっみたいに実際の介護者の意見を聞けたりすると、更に勉強になるのではと思う。(高校生)
- ・ とても満足できました。(高校生)
- ・ 治療等の方に重点を置いた内容。(高校生)
- ・ 診療を受けた患者さんの感想をききたいです。(医学部生)

(6) その他、意見、提案、感想

- ・ 予想以上に貴重な体験ができた。ぜひ又参加したい。(高校生)
- ・ 地域の方や医学生、お医者さんの話をたくさん聞いて、参考になりました。(高校生)
- ・ 2回目の参加でしたがとても良かったです。(高校生)
- ・ 様々なことを学び、知らなかったことを知れる、すばらしい2日間でした。ありがとうございました。(高校生)
- ・ 来年も来ます。(高校生)
- ・ モチベーションがあがればいいなと思ってきたんですけど、すごい楽しくてこれから勉強がんばろうと思いました。(高校生)
- ・ 今回のこの研修はとても自分のためになりました。ありがとうございました。(高校生)
- ・ 本当にありがとうございました。岐大の医学部に入っても地域医療に携わりたいと思いました。(高校生)
- ・ とても貴重な体験をさせていただきました。今後ともこのような機会がぜひあってほしいと思います。どうもありがとうございました。(高校生)
- ・ とても楽しかったです。いろんなところへ行き盛りだくさんだったのでとても充実していました。(高校生)
- ・ 地域の方ともっと話せたらよかったです。(高校生)
- ・ フィールドワークをもう少し多くってほしかった。(高校生)
- ・ とても自分の将来のためになる話が聞いて良かった。(高校生)
- ・ 知りたかったことを学ぶことができて良かった。(高校生)
- ・ とても楽しく有意義な時間を過ごせたので良かった。この経験をこれからの勉強や生活で生かせたらいいと思う。(高校生)
- ・ 本当にためになる2日間でした。ここで学んだことは医者になっても絶対に忘れません。ありがとうございました。(高校生)
- ・ 将来の目標の参考になりました。今日のことを帰って改めて考え直してみます。本当にありがとうございました。(高校生)

- ・ 意識が非常にたかまりました。(高校生)
- ・ 研修自体はすごく楽しかったし、自分の将来を考えるうえでとても参考になりました。でも、1日目の夕食の時に私たちのグループに来た大学生の話が意味不明で全く理解できなくてとても気分が悪かったです。郡上にはたくさん名所があることを初めて知りました。まあ行きたいです。ありがとうございました。(高校生)
- ・ へき地という今後増えていく可能性のある環境をすることができ、本当にいい経験になりました。また、へき地医療でいろいろな話を聞いてしこでの活動の魅力を感じて、私は将来のことを漠然としか考えていないけど、人々の支えになるのも憧れるなど思いました。(高校生)
- ・ 楽しく学べたので良かったです。(高校生)
- ・ とてもいい経験ができて良かったです。(高校生)
- ・ へき地へのイメージが変わりました。日本は高齢化しているから、へき地医療はある意味で最先端だ、という話はなるほどと思いました。(高校生)
- ・ 今後もこのような活動があるといいと思います。(高校生)
- ・ ただ飯、ただ宿泊させていただいている身分ですので言うのがはばかられますが、男の大部屋は隅で喋っている人もいたりして、少し寝にくかった。自分で注意しろって話ですよ。すみませんでした。(高校生)
- ・ バスの長時間での移動はさすがにきつかった。次回はよりバスや車での移動時間が抑えられた研修がいいと思う。(高校生)
- ・ 大学受験のやる気の糧にしようと思い参加しましたが、地域医療に意外な楽しさとかを知り、マイナスイメージがほとんどなくなりました！つらいこともあるとお聞きしましたがそれでも（それを含め）魅力を感じました。貴重な体験をありがとうございました。(高校生)
- ・ 1日半という短い間でしたが、へき地医療に対する理解・関心がとても深まり充実した時間を過ごすことができました。今後もこの企画が発展して行ってほしいと思います。関係者の皆様がた、本当にありがとうございました。(高校生)
- ・ とても満足しました。より自分の夢を強く持て、勉強のモチベーションも上がりました。(高校生)
- ・ なかなかこのような場所での医療現場について、肌で感じるという機会はないのでとても新鮮だった。医療関係にすすむ上で生きてくる非常に貴重な体験ができた。(高校生)
- ・ ありがとうございました。郡上を楽しめました。(医学部生)
- ・ 非常に有意義な2日間になったと思う。県人会の先輩の先生方の交流もできたので良かった。(医学部生)
- ・ 刺激を受けた2日間でした。医学生としての自覚を改めて持ちました。(医学部生)

(7) 振り返りシートより

① 新しく気づいたこと、できたこと、したこと

【高校生】

- ・ 数字だけでは分からないへき地の実際の様子について少し理解が深まったように感じる。へき地にはどちらかというと負のイメージがあったが、そればかりではないのだと実感させられた。
- ・ へき地の医療は充実していない。地域の方とのつきあいが大切。コミュニケーション能力が必要。”総合的”な医者が必要。
- ・ 今まで地域医療の知識は少しはあったが、そのようなことを実体験として学ぶことができるというのは良かったと思う。また、地域医療というのはその地域の伝統（郡上おどり）も考慮して患者と接することが必要であると分かった。
- ・ 今まで聞いていたへき地医療にプラスして、より新しい医療について学べた。地域住民との会話で生の声が聞けたのでとても良かったし、住民の方にとっても良かったと思う。
- ・ へき地医療に対する悪いイメージが変わった。地域の方々と楽しくおしゃべりしたり、すごくフレンドリーだった。
- ・ 医師という感じではなく人と人との治療という事であり、アットホームな感じが印象的だった。
- ・ 医療に対する知識があまりにも不足していたと気づいた。医療には技術だけではなく、コミュニケーション能力も必要だと分かった。
- ・ へき地医療において最も大切と思われるものが、人と人とのつながり、最たるは信頼関係であると気付いた。
- ・ 実際にへき地に行き、住民の方や医師の方とお話することができ、へき地だからといって医療が遅れているわけでもないし、診療所、医師がものすごく地域と密接に関わっていることを生で見聞きできた。
- ・ へき地医療には夢があると思った
- ・ へき地医療とはどういうものかということや地域住民の方々が医者に求めるもの、それは地域に限ることではなく全ての医者に当てはまることをとても考えさせられた。
- ・ へき地医療では単に医者だけではなく看護師等との連携も必要で、それによって地域医療が成り立つということが分かった。また、救急医療において救急救命士でも、ある程度医療行為を行えることを知って驚いた。
- ・ 地域の診療所は思っていたより大きくきれいだった。実際に見て話を聞くことによってしか得られないようなその地域に住む人の温かさを感じられたので良かった。
- ・ へき地医療とはいっても、いろんな検査をすることができる病院もあるし、患者さんとの仲が良くてやりがいのある仕事だと思った。
- ・ へき地にはポジティブな面がたくさんある。都市部に比べて、地域住民との関わり

がとても強い。住民の方は、診療所をとても頼りにされていて、先生のことが大好きで地域として 1 つの輪に診療所がかかせない存在だった。やはり関わりが強い分、コミュニケーション能力が求められる。

- ・ 地域では地域の人々の関わりが深いので、医師もロングステイして住民のことをよく分かっている人がいいと思う。
- ・ へき地にマイナスイメージがあったけれども、今回を通じてへき地医療は地域の方々とふれあえる素敵なことだと思った
- ・ 一言で”へき地”といっても、地域の人々に密着した医療が大切だと分かりました
- ・ へき地ときくと医師に仕事は膨大な量で本当に大変で休む暇がないと思っていたけど、そういうこともなく地域の方々と協力していて、患者だけでなく他の人々と密接に医師は交わっているんだと思った。
- ・ へき地医療って温かいと思った。地域の方とお話した時「先生（医師）とは友達のようなだ」と言って、純粹に何かいいなと感じた。
- ・ この活動に参加する前はぼんやりとした「へき地医療」だったが、今回の経験を経てへき地医療とは地域のつながりで成り立って、「one for all all for one」に一致するのではないかと思った。
- ・ 医療器具に実際に触れたり使ったりすることができ、医師という未来に少し実感がわくようになった。
- ・ 自分の抱いていた地域医療のイメージとは異なっていたので、本場の体験で人と人のつながりを強く感じる事ができた。医師の一人一人がすごく楽しそうでつらそうな顔を見せていないことに驚いた。
- ・ この研修では、岐大医大生の堀さんの話をたくさん聞くことができ、すごく自分のためになった。地域の方々とたくさん話すことができ、コミュニケーションがとれたことがよかった。
- ・ 診療所というのは病院の規模が小さいものというイメージがあったけど、診療所でしかできないことや地域だからこその良さを知ることができたので良かった。
- ・ 今までへき地医療に対しての興味や関心が薄かったのですが、今回の研修会でとても多くのことを学ぶことができ、へき地への興味も湧いた。たとえへき地で十分な設備が整っていない環境であっても、人々が幸せに暮らしていくには「医師」という存在が大きな役割を担っていることが分かった。
- ・ 地域医療というものに対する見方が変わった。グループでいろいろ話して、いろんな意味で成長できたと思った。
- ・ へき地医療に対して、マイナスなイメージしかなかったけど、実際はすごく楽しいそうのでやりがいをもって働いていること。
- ・ 地域に密着しているへき地医療には大きな可能性があるということ。地域住民にとってのへき地医療の重さ。いろいろな岐阜県内の進学校の人たちと話ができて勉強に対

しての意識が高まった。自分からたくさん意見を出せた。

- ・ へき地医療はつまらないものだと思っていたけど、とてもやりがいのある仕事だと思った。
- ・ 知識だけが勉強だけが医療ではない。人と上手く関わってこそ医療なのだと思った。
- ・ へき地に対してのへき地医療に対しての偏見みたいなものがなくなり、へき地だからこそ地域の人に密着はすごいものでこういう将来もあるんだと思った。
- ・ へき地医療では、医師と患者との信頼関係が一番大切だとゆうことがわかった。
- ・ 患者さんはカルテを見てばかりいる人よりも、眼を見てくれたり、子どもにもきちんと説明してくれる医師が信頼できるし求めているとわかった。
- ・ へき地での医療は大変だが、やりがいがある仕事だとゆうこと。地域医療は最先端の技術に遅れているイメージだったが、実は週に一回ぐらい医師で集まって交流したり、インターネットで情報が入るので困ることはあまりないということ。
- ・ へき地医療にはどんな医療スタッフが求められていて、病院にはどんな設備があるのかということ。住民の方々は診療所に対してどのように感じているのかを聞いてとても身近にあるものなんだと改めてわかった。
- ・ へき地の住民の方々と医療従事者の方々の絆が深いということがとても印象に残った。
- ・ 住民の方々と話すことが楽しいと感じている自分に気づいた。へき地医療といっても、エコとかの比較的新しい機材があることには大変驚いた。
- ・ 積極的に前にでていくことができた。往診が今、とても求められていること。医療は単に病院の中だけでなくその前後、そして地域の中での役割というとても膨大なジャングルの中で行われるものだという事。
- ・ 他の人たちのやる気の高さを実感した。なかでも、自分が医学部に入った後のことなどまで考えている人までいて、すごく深く考えているということが驚きだった。
- ・ へき地にはあまり夢がないと思っていたが、ここは人がすごく温かくてつながりも深くて、自分の住んでいるところが大好きなんだって思った。
- ・ 地域医療をすることで人との関わり合いが良くなるということ。へき地には良い点もあるということ、そして、人手不足や住民の声など直すべき課題があるということ。
- ・ 自分の将来について少し考える事ができた。へき地のこととかまったく知らなかったけど、たくさん学べたし興味も持てた。
- ・ 新しく気が付いたことはたくさんあります。お年寄りの方との話し方やへき地ならではの病院のつくりなどがあることを知りました。
- ・ へき地では地域内でのつながりが強くそこでの医療も地域ぐるみで、住人の方と関わり合いながら行われることに気づいた。
- ・ 班の仲間と積極的に会話をする事ができたし、ワークショップの時も住民の方や新しく班になった人とも積極的に話しかける事ができた。へき地にも魅力がいっぱいあることに気づいた。

- ・ へき地医療に興味はあったけどその程度で終わっていたが、実際へき地医療をしたいと思った。
- ・ 介護職の方の話がワークショップで聞けて良かった。求められる医師像というのを客観的に聞いたのは、自分がどういう人間であるべきかの指針になった様に思う。
- ・ 他校の状況。医師、医学生は一体どんな暮らしをしているかということ。初対面の人とでも、仲良くなることができた。
- ・ 地域医療の楽しさを大いに感じる事ができた。また、初めて会ったメンバーばかりだったけど、仲良く研修したり発表したり良い出会いができました。地域住民の方々と直接触れ合うことで、へき地医療の重要性を改めて知ることができた。
- ・ へき地の診療所へ行ったのは初めてだったし、地域住民の方の声を聞くことも今までなかったけど、地域の方が医療に対して何を求めどうい町づくりを望んでいるのかに気づくことができた。普段の生活ではなかなかできない、幅広い世代のたくさんの方との交流ができた。へき地で働くにはコミュニケーション能力が重要だと体感した。
- ・ 自分が思い描いていたへき地医療とは程遠いものだった。テレビの特集などで、取り上げられる最先端医療を医療として考えがちだが、今回の研修を通じて地域と密着し医師と患者が信頼した上で医療行為をするのも大切な医療の面だと気付かされた。
- ・ へき地医療に対する印象がガラリと変わった。医療とは直接には関係ないが、コミュニケーションが積極的にとれた。こういう地域もいいなと感じた。

【医学部生】

- ・ 良い医師になれるようしっかり勉強しようと改めて強く思うことができた。
- ・ 地域住民の生の声をきくことで、地域で求められている医師像を少しは理解できた。
- ・ 地域の方との話で、医師が自ら住民の生活に入り込もうとしないとなかなか親しみをもってもらえないということがわかりました。

② うまくいかなかったこと、失敗したこと

【高校生】

- ・ 寒くて少々体調を崩している。もう少し服装を考えてくる必要があったと思う。
- ・ 積極的に質問したり、他の人と話すことができると良かった。
- ・ ワークショップの際に、自分は国語力がないので頭にあったことを思うように表現できなかった。また、もっと他のグループの人とも積極的に交流すべきであったと思う。
- ・ もう少し積極的にいろいろ取り組めたらよかった。
- ・ 後になって聞きたいことが思いついた時には後悔した。
- ・ 交流の時自分から話すことが出来なかったこと。
- ・ 信頼のおける友達を一人でも連れてればよかった。自分の中での医学に対する考えがまとまってなくて、交流するときあまり話が出来なかった。
- ・ もっと自分の意見を発信したかった。

- ・ 前日の睡眠が十分でなく、初日のフィールドワークでとても疲れてしまったこと。移動を睡眠に使ってしまいグループの子との会話が十分には出来なかった気がした。
- ・ できれば診療の様子を見れたら良かった
- ・ ご飯の時に医学生の方が隣に座って下さっていましたが、最初の頃あまりはなさなかったこと。
- ・ 自分の考えをしっかりとより豊富に持ったうえで参加すればもっと良かったと思う。
- ・ 老人施設で行ったレクが少し失敗した
- ・ 特にありません
- ・ グループ以外の知らない子ともっと関わりがもてれば良かった。
- ・ もう少し積極的に物事に取り組みばよかった。
- ・ 特にありませんが、もう少し話をする時間があればと思った。
- ・ 最初、緊張してあまりグループに溶け込めなかったことが残念だった。
- ・ 地域の方とお話をするときに、自分から話す事があまりできなかったのが少し後悔した。
- ・ 満足する体験だったので特にはないが、もっと色々な人に話かけたらよかった。
- ・ 素敵な2日間だった。
- ・ 大学生との交流で、あまり自分意見が言えなかったこと。
- ・ 自分から地域の方々に話かけられなかったので、そこがもう少し話せたらよかった。参加した全員と仲良くはできませんでした。
- ・ 最初のうちはなかなか積極的になれずにもっと吸収できることもあったのに、それを取りこぼしてしまった。
- ・ もう少しへき地に住む住民の方々の声を聞くことができたらよかったと思う。
- ・ もっと、質問できる時に積極的にできたらよかった。
- ・ 特にありません。
- ・ 1日目に疲れがすごく溜まっていたにもかかわらず、十分な休息がとれず、2日目に少しだれてしまったこと。もっといろいろな高校生の方々も関わりたかった。あまり自分の考えがないままに診療所に行ってしまったこと。
- ・ フィールドワークディサービスに行ったときに、もっと質問をしておけばよかった。質問を家で考えてこればよかった。地域見学の時にもっと写真をとればよかった。
- ・ グループとして上手くコミュニケーションをとることができなかった。
- ・ 自分の意見を進んで発言することができなかった。
- ・ もっと喋れたと思う。医学生との懇談会でもっと質問できたかもしれない。
- ・ もう少し地元の方々とコミュニケーション取れたら良かったと思う。
- ・ 住民の方々とのセッションなどで自分の意思をもっと伝えられたら良かったかなと思う。
- ・ フィールドワークの発表の時、もっと内容を考えておけば良かったと思った。

- ・ フィールドワークのまとめの時チーム内の交流が少なかった為なかなか進んで提案をすることができなかった。
- ・ 夜、漫才のような話が嫌でも耳に入ってきて十分に寝れなかった。
- ・ もっとお話が地域の方とできたら良かったと思う。
- ・ 一日目の交流ではあまり発言ができなかった。
- ・ もう少しグループの人と気軽に話せたら良かった。
- ・ コミュニケーションが足りなかったと思った。自分から質問とか積極的に動くことがあまりできなかった。
- ・ 途中眠くてボーっとしてしまっているところがあったのが残念だった。
- ・ 発言することと他の人の意見を聞くこととのバランスを保つのが難しかった。
- ・ 班編成の最初の頃あまり積極的にコミュニケーションが取れなかったこと。
- ・ あんまり寝れなかった。
- ・ 初対面の人との初めの触れ合い方。急に振られたときに、すぐにうまく自分の意見をまとめ上げること。
- ・ 二日目のワークショップの時2ラウンド目のグループではあまり発言できなかったこと。(ある一人の子がリードしてくれたけど・・・)
- ・ グループ全体として、もう少し盛り上げられたらよかったなと思った。やはりコミュニケーション能力は大事だなと思った。
- ・ 思い当たりません。
- ・ レク。

【医学部生】

- ・ もう少し母体の状況を把握するようにしなければいけないと思った。高校生と接するのはなかなか・・・
- ・ 高校生とあんまり仲良くなれてなかった。
- ・ 何度も新しいグループに割り振られそれぞれの仲良くできたが、部屋だけ一人違うグループの大部屋で高校生との接し方に戸惑った

③ 研修会終了時の気持ち、感情、感想

【高校生】

- ・ 今回の研修では考えさせられることが沢山あった。たった2日間で分かることなど少しだけなのかもしれないが、それでも沢山の知らなかったこと考えもしなかったことを知ることができた。へき地へのイメージ、自分の考え方、医師の在り方など様々のことが変わった。このような機会があったことにとっても感謝したい。本当にありがとうございました。
- ・ 今回の研修を通じてたくさんの事を知ることができました。ワークショップでの話し合いはとても楽しかったし勉強になった。今後の進路の選択に生かしていきたい。医

者としてではなく地域の一員として医療に関われるようになりたい。

- ・ 他の人とコミュニケーションをとることによって自分のコミュニケーション力を高めることができたし、地域医療の実態を肌で感じることもできたのでとても満足している。
- ・ へき地医療に携わり地域住民のためのことをしたい。
- ・ 元々へき地へ行くことに抵抗は少なかったけど、アットホームな雰囲気を直で見て憧れすらおぼえた。
- ・ もっともっと勉強してぜひ自分も地域医療に携わって地域の中にとけ込むことが出来たらなあと思った。
- ・ へき地医療や郡上について知ることができ、本当に貴重な体験ができてすごく満足している。
- ・ へき地医療を学ぶことで大病院などでのドライな対面が望まれていないものだと分かり、自分はそんな医者にはなりたくないと思った。
- ・ へき地にイメージがポジティブなものに変わった。元々地元で働きたいという思いがあったけど、実際にやりがいや関係の深さなど良いところをたくさん知れたことで、その思いがより強く明確になった。
- ・ 最初はへき地に対してどうしてもネガティブなイメージをもっていただけ、研修を通じて地域医療はやりがいがあると感じた。自分も医師になって地元のみなさんに恩返しをしていきたい
- ・ 医者、医学生、住民と本当に様々な角度から医療について考え語ることができて、自分がどういう医者になりたいかという研修前の目標を達成でき本当に満足している。
- ・ 住民と語る会を通じて、目を見て話してくれる医者か、触診してくれる医者だと安心できるのだと聞いて、それが信頼へとつながるのだと分かった。郡上市は医師と住民とが密接に関わりをもっていて、患者にとって安心できる医療を行っているし、へき地ならではの長所を生かしているのも良いことだと思った。
- ・ 待合室でお話したおじいさんの言葉がとても印象的で「出会いが宝」「予防が大事」という言葉が聞いたことがとてもうれしかった。
- ・ 109歳のおばあちゃんに会えたり、滝を見たりいろんなことができて楽しかった。
- ・ 今回の研修では、今の自分に足りなかった医師になりたいという強い思いをもたせてくれるものだった。へき地における診療所、医師の在り方を学び、本当に先生方が必要とされていて、住民の方が好意まで持っていらっしゃるにはとてもすごいことだと思ったし、へき地ならではのと思った。
- ・ 実際に医療に関わって人や地域の方々との交流する機会を多く持つことができ、人との関わりがやっぱり楽しいし、大切なことだとわかった。本当に多くの事を学べた研修会に参加して良かったと思う
- ・ 地域医療はドクターコトーのような印象が強かったけど、私が行った診療所は結構大

きくてイメージしていたのとは違った

- ・ 産婦人科医になりたいと思っていたけど、へき地医療に携わる道も視野に入れてみようと思った。
- ・ 医療はただ治すだけでなく、その地域の人々との信頼関係を築くことが最も大切なのだと思った。研究もいいけど、地域医療もとてもやりがいがあると感じた。
- ・ 将来の就職先を決めるときにへき地を候補に入れたと思った。へき地は都会と違い地域の方々と深い関わりをもって生活出来る所だと思う。長くへき地に携わることのできる医師が必要だと思った。
- ・ 「先生（医師）は友達のような」という言葉を聞いて、私も患者さんに親近感をもってもらえるような、友達って思ってもらえるような医師になりたい。
- ・ 地域でお互いに成長していく、また、医者が「医者」ではなく一人の住人としての「医者」であることが必要だと思った。
- ・ グループ制はかなりおもしろかった。
- ・ 地域にとっての診療所の大きさが身にしみてわかったので、人と人とのつながりを大切にし、患者さんの安心感や信頼感を得られるような医師を目指したい。この研修で同じ志望の人とも仲良くなれたし、後輩とも仲良くなれたのでもっと楽しかったし、医師になりたいという気持ちがより一層強くなったのでこれからがんばります！
- ・ 今回、医大生の方々にたくさん話を聞くことができ、岐大の地域枠についてなどたくさん知れたのでまた一段と岐大の地域枠に挑戦してみたいと思った。
- ・ 医者は病気を適切に処置することも大切だけど、それと共に人として地域の人や患者の方と触れ合うことが大切だと思った。地域で求められることは、僕が知っていたこととは違って人として信頼されるような医者だと分かりました。
- ・ 前よりへき地に対しての見方が変わった。この研修会に参加する前は、へき地なんてド田舎で行きたいと思わなかったが、実際にへき地で働く先生方、住民の方々のとても充実している顔を見て少しへき地医療にも関わればいいのかと思うようになった。
- ・ 地域医療はそれぞれの地域みなさんで信頼関係をつくっていくものだと思った。こういう面からもすごいと思った。
- ・ 医師になりたいという夢がより一層強くなり、将来医師になってへき地医療とまではいかないまでも、地域に密着した信頼のおける医師になりたい。
- ・ へき地医療、地域との関わりが深い医療に対しての重大さが分かって、自分の進路に険しい道が加わったと思います。他校の方々ともいろんな話がでたり、他校の人を見て、負けたくないと思うようになった。
- ・ すごく充実した研修会だったので参加できて良かった。
- ・ 医学部へ何としても入りたい。そのためにも、この夏休み、その後も勉強をがんばっていきたい。
- ・ 人との関わりとかコミュニケーションとかが苦手知らない人ばかりの中は怖かった

けど、いい人にめぐまれてそしてコミュニケーションの大切さを知った。

- ・ この二日間でとても沢山のことを聞いたり見たりして、今まで知らなかった事が沢山わかったので、これからの進路を決める時の参考になった。
- ・ 小児科の医者になってみたい。子どもにきちんと説明する医師になる。この研修会に参加してよかった。
- ・ 住民の意見から目を合わせる医師が信頼されるとわかり、そういう医師になろうと思った。
- ・ 研修に参加して本当に良かったと思う。今まであまり知らなかった地域医療についても詳しく知ることができたし、他校の子と情報交換もすることができた。今回の研修で学んだことを生かして頑張っていきたい。
- ・ 昨日『へき地とは』や『へき地医療とは』についてあまり感じることはなかったけど、約一日半の研修や交流会を経て『へき地』ではどんな医療が求められているのかということがわかった。この研修で最も印象に残ったのは出張診療所で設備は整っていないし、建物が小さいけど診療所までは行けない人にとってはかなり重要ではないのかと思った。
- ・ 絶対医者になって、多くの患者さんを助けたい！という気持ちであふれています！！
- ・ 医師と住民の繋がりを感じたため、私も温かい気持ちになった。今度は私が医師として今日感じた以上の繋がりを築いていきたいと強く思った。
- ・ とても満足している。今後医療の世界を志す者として、とても重要で大事な話を聞くことができた。やはり生で現場を見て、生の声を聞くことができた事が良かったと思う。
- ・ 地域医療の良さが非常に伝わる会だったので良かった。地域の方々と接する機会もなかなかないので、自分の将来のためになる素晴らしい経験ができたと思う。今のモチベーションで勉強していけたら最高だと思います。
- ・ ワールドカフェの活動で和やかにいろいろ話せた。同じ岐阜県だけど知らないことばかりでびっくりした。(歴史とか)
- ・ 医療の立場からの医療と住民の方々からみた医療に少し違いがあることがわかって、これからどうなる、どうしていく、また自分もそれに関わりたと思った。
- ・ 医療系の研修というなんとなくの理由で参加してしまったけれど、グループの人とへき地医療について考えることができた。自分の将来について考えることもできたし、コミュニケーション力も少しついたし自分に足りない事もわかったので、とても良い研修になったと思う。
- ・ とても眠たい。しかし今回の研修で学んだことがいっぱいあった。へき地での医療は想像していたより大変なことだけどやりがいすごく感じられる仕事だと感じた。
- ・ 自然の豊かさを知ったり地域の方の声を聞くことで、へき地ならではの良さを感じることができた。

- ・ この会に参加してへき地の印象が変わったし、将来に向けても視野に入れていこうと思った。自分の地域との関わりをもう少し大切にしようと思うようになった。
- ・ 絶対医者になってみんなに信頼されるような人になる。そのためにも勉強を頑張りたい。
- ・ 一方でどういう医師になりたいのか迷いが生じた。もしなれるならば専門医になりたいと思っていたが、誰かがやらねばならない地域医療も視野に入れていかななくてはならないと思った。そこら辺りの自分の希望というかエゴと使命感で医師になれたならばまた悩みそうである。人の少ない所に行くべきか自分の希望を通すのか。
- ・ 医師になるために今できることを精一杯頑張りたい。
- ・ 今まで地域医療に対してマイナスイメージの方が大きかったけど、杉山先生たちに出会って和気あいあいとした感じがあり偏見がなくなりました。また、地域住民の方にもとても気さくで医師、看護師と患者の付き合いではなく一人の人間としての付き合いを強く感じ、こんなところで働いてみたいと思うようになった。
- ・ 医者を目指すにあたって、人を看る医者にならなければいけないなと思った。この研修会に参加して新しい考え方をすることができた。
- ・ 今までも地域に還元できるような医師になりたいと思っていたが、様々な医師の方々の話や地元住民のお話をきくことで、より強く思うようになりました。大学受験やその先の大学生活もあるので、今すぐに行動に移すことはできませんが、多くの方々が話されてみえた医師に必要な力のコミュニケーション能力を今日から身につけていきたいと思う。
- ・ 非常に実のある話をきくことができ満足。

【医学部生】

- ・ もうちょっとしっかりしないといけないな。老健の方にはくれぐれもよろしくお伝えください。
- ・ 必要とされる医師になれるよう大学生活をエンジョイしつつ頑張りたい。地域医療にすごく可能性というか希望を感じた気がする。
- ・ 「受験」という懐かしい大イベントを今頑張っている真っ最中の高校生とたくさん話せてとても刺激を受けた。

④ 今後学びたい内容、願望

【高校生】

- ・ 今回、実際に体験することの大切さを学ぶことができた。今の段階で出来ることはどんどん試して行きたいと思う。
- ・ 医者という職業だけではなく、医療に関わる様々な職業についても知りたいと思った。
- ・ 自分は医師を目指しているので、医師としてなるのにはどのような能力が必要であるのかを知りたい。

- ・ 診療所へは行ったけど、その周囲の地域にはあまり回れなかったので地域についてもっと知りたい。
- ・ 大きな病院で何をしているのか、へき地医療との違いをもう少し知りたい。
- ・ 地域医療で求められる総合医療について理解を深かめたいし、人柄というもどのように接していくのが良いか？という事を考えて勉強していきたい。
- ・ ”へき地医療”について、もっと詳しく調べたり、その他の医療についても興味をもつことができた。
- ・ 信頼される医者にはどうしたらなれるのかをしっかりと考え深く学んでいきたい。
- ・ とにかく大学医学部に合格する！そして、住民の方々と話した理想の医師になるために、知識を備えることはもちろん、患者さんとのコミュニケーション力や関わり方といった、医療技術以外のことも学びたい。
- ・ 他の診療所も実際に目で見て考えたいと思った。また、自分自身でもへき地医療について進んで学んでいきたいと思った。
- ・ 今まで以上に医療系のことに目を向け、触れ、さらに知識を増やしていきたい。
- ・ へき地医療の更なる発展した技術や連携強化を目的とした多彩なシステムがあったら知りたい。
- ・ もっと地域のことを知り、地域医療のことを知りたいと思う。今回学んだことを学校の友人に伝えていきたい。
- ・ やはり医学部に進学したいと思った。そこで、へき地に対する知識をふやし自分のなりたい医師像をかためていきたい。関わりを大切にして、ここにあった地域住民の方々と信頼関係のようなものを築いていきたいと思った。
- ・ 医師になるという目標において地域医療も考えていきたい。患者さんに対して親身な医者になりたい。
- ・ 医師を目指したくさん人々にへき地医療について理解が深まって欲しいと思う。
- ・ 実際、へき地の診療所でどのような診察が行われているか見てみたいです。
- ・ 医学部に入って医師になりたい！
- ・ 私は小児科の医師になりたいので普通の学習はもちろんのこと、子どもとの接し方などもしっかり学びたいと思った。
- ・ まだ自分の経験したなかで郡上という所の医療についてのみしか見ていないので、もっと色々な医療を色々な角度から見てみたいと思った。
- ・ 郡上おどりだと、へき地の文化や伝統・・・
- ・ もっと地域の方々の話を聞きたいと思った。人によって思っていることは本当にそれぞれなので、自分も刺激になるような話を聞きたい。
- ・ 今回のへき地医療の研修で少しだけへき地について興味がでてきたので、これからへき地についても自分で考えていきたい。
- ・ ただ医学部へむけた勉強をするだけでなく、自分の地元住民との交流をもっと深めた

いと思った。地域医療に関しても前よりポジティブなイメージになりぜひ学んでみたいと思いました。

- ・ 今後は住民が真に求める「医師」とはどのように在るのか、ということを中心に住民からの視点で思慮深く考えていきたい。
- ・ もっと地域の人たちとの交流をしていろいろな事を知りたい。
- ・ まずは大学へ入るために高校の勉強をしっかりとし、それから地域の医療について学んでいきたい。
- ・ いろいろな知りたいことがまだまだあって地域医療だけに焦点化するのではなく、いろいろな所でこのくらい親切な治療のできる医者になれるよう学んでいきたい。それが海外だったり、国内の大きな病院そしてへき地だったり、場所を選ばずに活躍できる人になりたい。
- ・ へき地医療についてもっと知りたい。
- ・ コミュニケーション力を高めていきたい。
- ・ 色々な医療関係の仕事、場所を知り自分が将来そういった仕事に就けるよう医療について（漠然とですが）学んでいきたい。
- ・ へき地医療の課題を住民の人に聞いてみたい。
- ・ 小児科の医者になったとしたら、小さい子どもに説明できるようにしておかなければならない。だから大学で医学を学ぶ時は、何も知らない患者さんにどう説明をするのかイメージしながら病気について学んでいこうと思う。
- ・ 今後はへき地での医療の際、普段患者とどの様なコミュニケーションをとっているか知りたい。
- ・ 他の地域で『へき地』と呼ばれる所ではどんな医療が成されているかを学びたい。
- ・ へき地医療のことを中心に学んだので、今度は中小病院の良さなども学びたい。
- ・ 診療風景を少しでもみたかった。
- ・ もっと地域全体を対象にした医療の在り方というものを考えていきたい。そして、地域の人に信頼されるような立派な医師になりたい。
- ・ 地域と大きい病院がどのくらい連携が行き届いているのか気になった。
- ・ 大きな病院も一つの目標だけど、厳しい中でも頑張れる人になりたいと思った。これからどんどん人口が減っていくから、私達が大人になるころの医療体制はまだわからないけど、人の関わりを大事にして専門的なことだけでなく、どんなことからでも学べる人になりたい。
- ・ いろいろな人の話を聞いて、医療というのは体力面でも精神面でもとてもつらい生活になってくるということが分かって、それをどう改善させていくか現時点での医療を知りたいと思った。
- ・ 医者やへき地の医療に関係することも自分の将来の一つの可能性として考えていきたい。

- ・ もっと医療について知っていきたいと思った。
- ・ 勉強に励むことはもちろん人とのコミュニケーションをとることも頑張りたい。
- ・ さらに受験勉強に励みたいと思った。
- ・ 医療のこと。
- ・ 介護者、被介護者の心情等。10年にも及ぶ介護、何を思うのか死への望みもあるのか、医師になれたならば、救命か患者の意思か。もちろん安楽死推進なんて言ったらダメなんだろうけど、人間としてどうすべきなのか迷い続けそう。
- ・ 解剖学、地域医療、STAP細胞、iPS細胞。
- ・ 地域医療の現状を（郡上だけではなく他の場所も）を知り、自分もその役に立ちたい。地域の人々に感謝されて、家族のように接しまた接してくれるような医師になりたい。
- ・ フィールドワークでは理学療法士より健康寿命のお話をきいたので、それに対する理解を深めたい。
- ・ 高齢化社会において、高齢者からも受け入れてもらえる地域に密着した女性医師に必要な様々な能力（学力、コミュニケーション、優しさなど）。
- ・ 治療等にスポットをあてた内容もいいかと思う。（今回はあまりそのような体験がでなかったのだ）

【医学部生】

- ・ 医療という狭い土俵でしかプレーできなくなっているのではないかと思った。でも現実にはもっともっといろいろな土俵があって、患者さんはそのいろいろな土俵の一つとして医療にきているということ。そして医療という土俵だけに引き込むのはあまりよくないような気がした。患者さん自身がどうしたいか、でもそれに根拠を持って間に答えられるように。
- ・ 医学的な知識を早く身に着け実習など行いたい。先生方の診察の様子をみてみたい。
- ・ 住民の方のなかには診療所よりも市民病院がいいとおっしゃる方がいたので、そういう意見の方とも話してみたいと思った。